

第 40 回 知的財産管理技能検定
3 級 実技試験
管理業務

(はじめに)

すべての問題文の条件設定において、特に断りのない限り、他に特殊な事情がないものとします。また、各問題の選択枝における条件設定は独立したものと考え、同一問題内における他の選択枝には影響しないものとします。

特に日時の指定のない限り、2021年5月1日現在で施行されている法律等に基づいて解答しなさい。

- 1 半導体製造装置メーカーX社のエンジニア甲は、半導体製造用のロボットAを開発している。甲は、ロボットAに関連して、特許法上の保護対象である発明か否かについて、発言1～3をしている。

発言1 「ロボットAは半導体製造のためのものですが、熟練した技能工の動きを再現したものであり、いわゆる個人の技能に関するものですから特許法上の保護対象である発明に該当しません。」

発言2 「ロボットAは、限られたスペース内でも的確に動くようなデザインの設計がされています。ロボットAの技術的な工夫は、外観からわかるデザインに存在するので、ロボットAは特許法上の保護対象である発明に該当しません。」

発言3 「ロボットAを制御するために新たなコンピュータ言語を開発しました。このようなコンピュータ言語は、特許法上の保護対象である発明に該当します。」

以上を前提として、問1～問6に答えなさい。

問1

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問2

問1において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群I】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群I】

- ア 発明に該当するため
- イ 自然法則を利用したといえないため
- ウ 創作といえないため

問3

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問4

問3において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅱ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群Ⅱ】

- ア 発明に該当するため
- イ 技術的思想といえないため
- ウ 意匠法の保護対象となるため

問5

発言3について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問6

問5において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅲ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群Ⅲ】

- ア 発明に該当するため
- イ 自然法則を利用したといえないため
- ウ 技術的思想といえないため

2 甲は、コンテンツの利用方法について発言1～3をしている。

発言1 「出版社X社が発行する雑誌に、私が経営するカフェを紹介する記事Aが掲載されました。たくさんの人たちにカフェを利用して欲しいので、カフェの入口に記事Aをコピーして掲示しようと思っています。記事Aは私が経営するカフェに関するものなので、この場合は、X社の許諾を得る必要はありません。」

発言2 「非営利団体Y協会が主催する有料のイベントで、私の地元出身の劇作家乙が書いた演劇Bを、地元の大学生たちが無償のボランティアで上演するそうです。この場合は、乙の許諾を得る必要はありません。」

発言3 「私が勤務する新聞社Z社の取材で、わが社が発行する新聞に掲載するため、ある会社の社員食堂内の様子を撮影したところ、この写真Cに画家丙が描いた絵画Dが小さく写り込んでいました。この場合は、丙の許諾を得る必要があります。」

以上を前提として、問7～問12に答えなさい。

問7

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問8

問7において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅳ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群Ⅳ】

- ア 著作権を侵害する場合にあたるため
- イ 私的使用を目的とした複製にあたり、著作権が制限される場合にあたるため
- ウ 引用にあたり、著作権が制限される場合にあたるため

問9

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問10

問9において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅴ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群V】

- ア 著作権を侵害する場合にあたるため
- イ 営利を目的としない上演であり，著作権が制限される場合にあたるため
- ウ 学校その他の教育機関における利用であり，著作権が制限される場合にあたるため

問 1 1

発言 3 について，適切と考えられる場合は「○」を，不適切と考えられる場合は「×」を，解答用紙に記入しなさい。

問 1 2

問 1 1 において，適切又は不適切であると判断した理由として，最も適切と考えられるものを【理由群VI】の中から 1 つだけ選び，対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群VI】

- ア 著作権を侵害する場合にあたるため
- イ 著作物にあたらなため
- ウ 著作権が制限される場合にあたるため

3 問13～問26に答えなさい。

問13

甲は、菓子メーカーである「ABC株式会社」の設立を準備しており、会社名等について、商標登録出願をすべきか否かを検討している。ア～ウを比較して、甲の考えとして、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア ABC株式会社が販売する予定の商品パッケージは独特の形状であるが、そのパッケージの形状のみからなる商標については、商標登録を受けることはできないと考えた。
- イ 会社名「ABC株式会社」について、商号登記をした場合であっても、会社名について、商標登録出願もした方がいいと考えた。
- ウ ABC株式会社が会社名について商標登録出願する際には、複数の商品を指定して出願することができると考えた。

問14

自動車メーカーX社の知的財産部の部員甲は、特許協力条約（PCT）に基づいて国際出願をすることを検討している。ア～ウを比較して、甲の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「X社は国際出願した後、所定の期間内に国際事務局に対して国際公開の請求をすることができますが、請求がなくとも国際公開されます。」
- イ 「X社が国際出願した後、所定の期間内に国際調査機関に対して国際調査を行うことを請求しなければ、国際調査は行われません。」
- ウ 「X社が国際出願した後、所定の期間内に国際予備審査機関に対して国際予備審査請求をした場合に限り、国際予備審査は行われます。」

問15

服飾メーカーX社は斬新なデザインである作業服について意匠登録出願の準備をしている。一方、作業服の発売は、予定より大幅に遅れることになったため、意匠登録出願後に、他社にデザインが知られるのを防ぎたいと考えている。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員甲の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「設定登録料の納付時に、秘密期間を1年とする秘密意匠の請求をしよう。」
- イ 「意匠登録出願について、登録査定の際の本送達後に、設定登録料の納付期間を1年とする納付延長の請求をしよう。」
- ウ 「意匠登録出願と同時に秘密期間を3年とする秘密意匠の請求をしよう。」

問 16

化粧品メーカーX社は、自社の特許製品と類似する化粧品Aが同業他社であるY社から販売されているとの情報を得た。そのため、X社はY社に対して、特許権を侵害している旨の警告書を送付した。ア～ウを比較して、警告書を送付する目的に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア Y社による化粧品Aの販売を停止させる目的
- イ ライセンス契約の交渉をする目的
- ウ 警告書による警告が侵害訴訟を提起するための要件なので、侵害訴訟を提起する目的

問 17

ア～ウを比較して、産業上利用することができる発明に該当する発明として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 冷凍食品
- イ 人間を診断するための方法
- ウ 物理の実験にのみ用いられる特別な形状をした実験用ビーカー

問 18

家電メーカーX社の知的財産部の部員甲は、新商品の冷蔵庫に使用する商標Mについての先行商標調査を行った。ア～ウを比較して、甲の考えとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 商標Mと同一又は類似する可能性があるような先行商標は発見されなかったので、直ちに商標Mの使用を開始しても問題はないと考えた。
- イ X社と競合するY社が、商標Mと類似する登録商標Aを有していることが判明した。登録商標Aに係る指定商品と、X社が販売する商品とは商品区分が異なるが、商標Mを選択する上では詳細に当該指定商品との類否関係を検討する必要があると考えた。
- ウ 商標Mは、競合するW社が長年使用している商標Bと酷似するものであったため、商標Bについて調査を行い、W社が商標Bについて商標登録を受けていないことを確認できたので、商標Mの商標登録に際して、商標Bが問題となることはないと考えた。

問19

X社は品種Aについて品種登録を受けている。ア～ウを比較して、育成者権に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 品種Aに係る登録品種の育成方法についての特許権を有しているY社が、当該特許に係る方法により生産した品種Aの種苗を譲渡する場合には、X社の許諾を得る必要はない。
- イ X社から購入した品種Aの特性を確認するために研究機関で品種Aの種苗を増殖する場合には、X社の許諾を得る必要はない。
- ウ X社から購入した品種Aの種苗を育てて得られた収穫物を販売する場合、X社の許諾を得る必要がある。

問20

ア～ウを比較して、著作物の利用に関して、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 学生が書いた論文Aの誤字を教員が無断で訂正することは、論文Aの翻案権の侵害となる。
- イ 甲の作文Bを、乙が友人丙へ電子メールに添付して送信することは、作文Bに係る公衆送信権の侵害とならない。
- ウ 友人が旅行先で撮影した画像Cからイメージして作曲することは、画像Cの複製権の侵害となる。

問21

X社はクルーズ船Aについて意匠権を有している。X社の営業部の部員甲は、知的財産部の部員乙に、クルーズ船Aと同一のデザインのクルーズ船のおもちゃBをY社が販売していることについて相談をした。ア～ウを比較して、甲と乙の会話として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。なお、「クルーズ船」と「クルーズ船のおもちゃ」は非類似物品とする。

- ア 甲 「意匠権の効力範囲とはどのような範囲ですか。」
乙 「登録意匠に係る物品と同一又は類似の範囲で、かつ、その形態と同一又は類似の範囲をいいます。」
- イ 甲 「意匠法上、一般に意匠権に基づいてどのような権利行使ができますか。」
乙 「意匠権の効力範囲における第三者の業としての実施に対して、差止請求や損害賠償請求ができます。」
- ウ 甲 「おもちゃBに対し、クルーズ船Aに係る意匠権に基づいて権利行使できますか。」
乙 「おもちゃBのデザインは、クルーズ船Aに係る登録意匠のデザインと同一です。そのため、デザインを保護するという意匠法の趣旨から、意匠権を行使できます。」

問 2 2

機械メーカー X 社の知的財産部の部員甲は、日本にした特許出願 A に基づいて、パリ条約上の優先権を主張して米国に特許出願 B をすることを検討している。ア～ウを比較して、甲の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「特許出願 A について出願審査の請求をした後は、特許出願 A に基づいてパリ条約上の優先権を主張して特許出願 B をすることはできません。」
- イ 「特許出願 A に基づいてパリ条約上の優先権を主張して特許出願 B をした場合であっても、特許出願 B の出願日は、特許出願 A の出願日となりません。」
- ウ 「特許出願 A に対して出願公開が請求された場合、特許出願 B について特許出願 A に基づくパリ条約上の優先権の主張は認められません。」

問 2 3

スポーツ用品メーカー X 社は、Y 社に対してランニングシューズに関する特許権 A に係るライセンスをすることを考えている。これについて、X 社の知的財産部の部員甲と乙が会話をしている。ア～ウを比較して、ライセンス契約の内容に関して、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 甲 「Y 社が特許権 A に係る特許発明を改良し、特許権 B を取得した場合、特許権 B について、わが社に専用実施権を設定させることはできますか。」
乙 「Y 社からわが社に特許権 B を譲渡させることは、市場におけるライセンサーの地位を強化するとして独占禁止法上問題となりますので、わが社に専用実施権を設定させることも同様の理由でできません。」
- イ 甲 「わが社も特許製品を販売するのですから、Y 社との価格差ができて競争力を失うことがないように、Y 社の販売価格はわが社の販売価格より高額とするよう、契約に盛り込むことはできますか。」
乙 「研究開発費を投じた特許権者が市場で優位に立つことは当然であり、販売価格の制限は特許権の権利行使に該当し、独占禁止法に抵触しませんので、契約に盛り込むことができます。」
- ウ 甲 「わが社は、来年の 3 月には特許製品の販売を終了する予定ですから、Y 社に対して、特許技術を利用できる期間を来年の 4 月以降と限定することはできますか。」
乙 「期間を限定した許諾は特許権の権利行使に該当しませんが、独占禁止法に抵触するので、利用期間を限定することはできません。」

問 2 4

ア～ウを比較して、著作権法上の同一性保持権の侵害に該当する可能性が高い行為として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア より多くの宿泊客が宿泊できるようにするため、有名な建築家が設計したホテルを増築する行為
- イ 会社の会議室に飾るため、著作者から購入した絵画の一部の色を会議室の雰囲気に合わせて変更する行為
- ウ 公立高校の入学試験の問題を作成するため、新聞記事の一部を使用し、使用部分の一部を空欄にする行為

問 2 5

文房具メーカーX社は、ボールペンAをインターネットを通じて販売している。同業他社のY社から、ボールペンAの販売がY社の特許権Pを侵害しているとして、ボールペンAの販売の中止を求める警告書がX社に届いた。ア～ウを比較して、X社の考えとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア X社は、Y社の特許技術と同様の技術を独自に開発し、Y社による特許出願より前にインターネット上で公開しており、X社の行為は特許権Pの侵害には該当しないので、警告書に対してその旨を回答することを含めて何ら対応する必要はない。
- イ インターネットを通じてボールペンAを販売する行為は、特許発明の実施行為には該当しないので、特許権Pの侵害にはならない旨を回答する。
- ウ ボールペンAは、X社が独自に技術開発し、Y社の特許権Pに係る特許出願より前に、事業の実施の準備をしていたので、X社は先使用による通常実施権を有する旨を回答する。

問 2 6

ア～ウを比較して、意匠登録を受けることができる可能性が高いものとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 自然石をそのまま使用した置物
- イ 猫の顔が描かれたTシャツ
- ウ 恐竜のキャラクターデザイン

4 問27に答えなさい。

問27

化学品メーカーX社は、自社の従業員がした発明について2021年11月2日に特許出願Aをした。この場合、特許出願Aの出願審査請求をすることができる最終日が属するのは西暦何年何月か、算用数字で解答用紙に記入しなさい。

5 次の発言は、X社の知的財産部の部員が、商標権の登録等に関して従業員に説明しているものである。問28～問30に答えなさい。

「商標登録出願について、の謄本が送達された日から、所定期間内に登録料を納付することにより設定登録され、商標権が発生します。また、登録料は、年毎に分割して納付することもできます。更に、他の知的財産権と異なり、商標権者は申請により存続期間を更新することができ、その更新手続をすることにより、商標権を存続させることも可能です。また、更新の申請のときに、登録商標を使用していることが要件とされません。」

問28

空欄に入る最も適切な語句を【語群Ⅶ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問29

空欄に入る最も適切な語句を【語群Ⅶ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問30

空欄に入る最も適切な語句を【語群Ⅶ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

【語群Ⅶ】

10 20 半永久的に 許可通知 登録査定
1回に限り 2回に限り 3 5 付与通知

【第40回知的財産管理技能検定】

【3級実技】

番号 正解

問1 ×

問2 ア

問3 ×

問4 ア

問5 ×

問6 イ

問7 ×

問8 ア

問9 ×

問10 ア

問11 ×

問12 ウ

問13 ア

問14 イ

問15 イ

問16 ウ

問17 イ

問18 イ

問19 ウ

問20 イ

問21 ウ

問22 イ

問23 ア

問24 イ

問25 ウ

問26 イ

問27 (西暦)2024(年)11(月)

問28 登録査定

問29 5

問30 半永久的に